


千葉県

 地 方 創 生

人口ビジョン・総合戦略

CHIBAちば





我が国の人口は、2008年をピークに減少局面に突入しており、本県の人口も、中長期的には減少が見込まれています。

こうした状況の中、急激な人口減少に歯止めをかけ、地域の活力を取り戻す「地方創生」を実現するためには、本県の「強み」を生かして、市町村、県民の皆様、企業や団体の方々と一丸となって、取組を進める必要があります。

本県は、東京圏に位置し、豊かな自然環境や魅力ある観光地、優れた都市機能とともに、成田空港や東京湾アクアラインといった世界に誇れる社会基盤、全国でも有数の農林水産業・商工業などの産業構造を有しており、様々な「ポテンシャル」や「宝」に溢れています。

これらを最大限に活用することにより、千葉県という空間全体で、様々な価値観を持つ方々に、地方創生の実現に向けて重要となる「働く場」や「子育ての場」、「住まいの場」「憩いの場」を提供できる「総合力の高さ」、これこそが本県の「強み」であると考えています。

このたび、県では、県人口の現状と将来展望を示す「千葉県人口ビジョン」と、今後5年間の目標や施策の方針をまとめた「千葉県地方創生『総合戦略』」を策定しました。

今後は、この「人口ビジョン」及び「総合戦略」に基づき、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技の本県開催を絶好の機会として捉え、本県の「強み」を生かして、各地域の活性化を図り、本県の発展の礎となる基盤をつくり上げるとともに、若い世代の希望がかなえられる魅力ある雇用の場の創出や、安心して子どもを産み育てられる環境の整備などに、着実に取り組んでまいります。

県民の皆様が「千葉で生まれて、住んで、働けてよかった」と誇れるような「暮らし満足度日本一」の千葉をみんなで作くり上げ、光り輝く千葉をしっかりと次の世代に引き継いでまいります。

平成27年10月

千葉県知事 **森田 健作**



# 県の地方創生の概要

まち・ひと・しごと創生法(平成26年11月28日法律第136号)に基づき、千葉県における人口の現状と将来展望を示す「千葉県人口ビジョン」と、今後5年間の目標や施策の方針をまとめた「千葉県地方創生『総合戦略』」を策定いたしました(平成27年10月30日)。

## 千葉県人口ビジョン

【2060年まで】

### I 人口の状況分析

- 人口の推移
- 人口動態の分析 等

### II 人口の将来展望

- ◆地方創生に向けた基本的な考え方
- ◆目指すべき将来の方向

国内外の人々が集う  
千葉の実現

～人口の社会増～

親子の笑顔が溢れる  
千葉の実現

～少子化への挑戦～

オール千葉で支え合う  
安全・安心に暮らせる  
千葉の実現

～人口減少に対応した県づくり～

◆千葉県の将来人口

## 千葉県地方創生「総合戦略」

【2015～2019年度まで】

総合戦略

I

東京オリンピック・パラリンピックを契機とした「世界中から人々がやってくるCHIBA」づくり

総合戦略

II

地方創生の実現に向けた千葉づくり

(1)

“一人ひとりの働きたい”  
がかなう千葉づくり

(2)

“国内外の多くの人々が集う”  
魅力あふれる千葉づくり

(3)

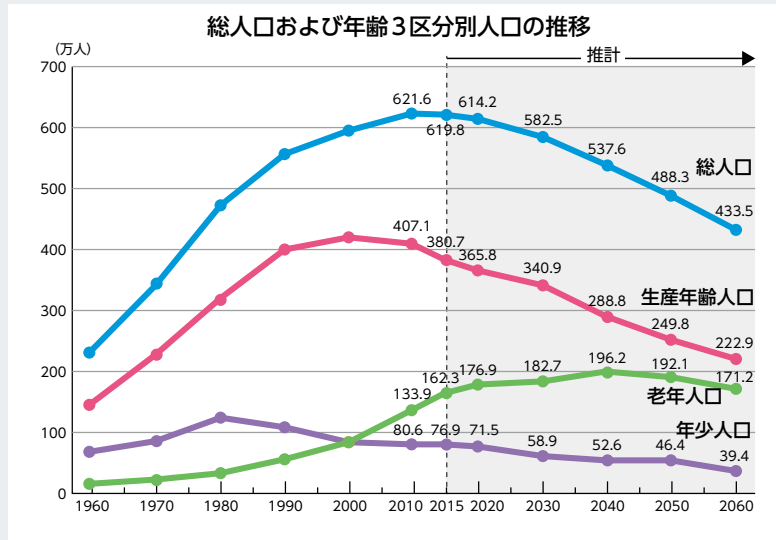
“それぞれの結婚・出産・  
子育ての希望”  
がかなう千葉づくり

(4)

“安全・安心な暮らし”  
がかなう千葉づくり

# 知っていますか？

## 人口減少が進んでいく…



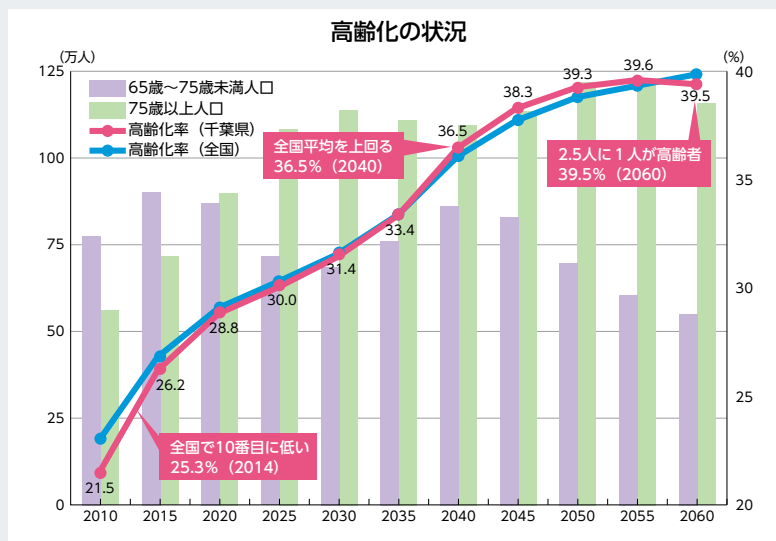
資料：総務省「国勢調査」「人口推計」、社人研「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」(一部再計算)  
(2040～2060年は、まち・ひと・しごと創生本部提供資料に基づき算出したもの。端数処理の関係で、3区分の和が、総人口に一致しないことがある)

千葉県の総人口は、2010年から50年後の2060年には、30.3%減少し、433.5万人になり、また、生産年齢人口<sup>※1</sup>は45.2%減少し、222.9万人になると見込まれています<sup>※2</sup>。

※1 「生産年齢人口」は15歳から64歳までの人口。また、「年少人口」は0歳から14歳までの、「老年人口」は65歳以上の人口。

※2 国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)の将来推計に準拠し、一部再計算を行った推計による。

## 高齢化が急速に進行！



資料：社人研「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」、社人研「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」(一部再計算)  
(2040～2060年は、まち・ひと・しごと創生本部提供資料に基づき算出したもの)

千葉県における2014年の65歳以上人口の増加率は全国2位であり、今後急速に高齢化が進行すると考えられています。2014年には25.3%だった高齢化率<sup>※3</sup>は、2060年には39.5%まで上昇し<sup>※4</sup>、2.5人に1人が高齢者となる見込みとなります。

※3 総人口に占める65歳以上人口の割合。

※4 社人研の将来推計に準拠し、一部再計算を行った推計による。

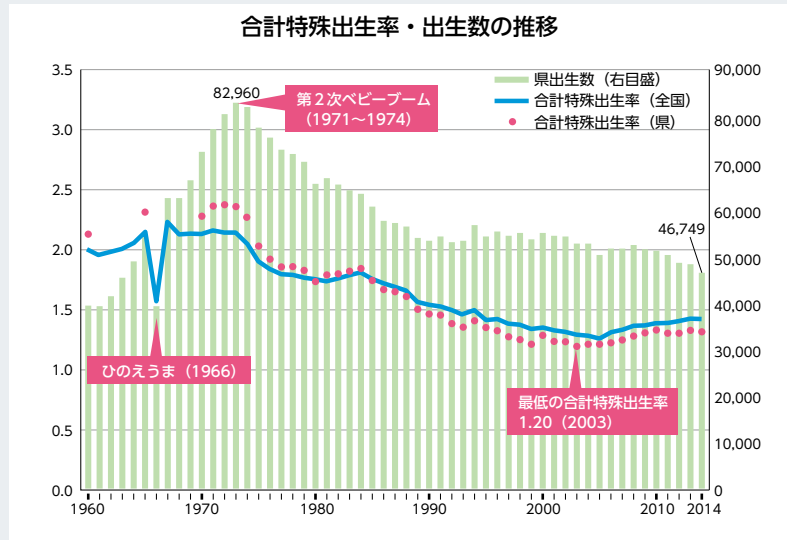
# 千葉県の人口問題



## 出生率は低水準…

千葉県の出生数は、1973年の82,960人をピークに減少し、2014年には46,749人と、ピーク時の56.4%まで減少しました。合計特殊出生率<sup>※5</sup>は、1985年から全国平均を下回った状態が続いています。

※5 15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した値で、一人の女性が一生の間に生む子どもの平均数を表します。



資料：厚生労働省「人口動態統計」、千葉県「衛生統計年報・人口動態調査」

## 人口が減少するとどうなる？

人口減少や人口減少に伴う人口構成の変化によって、さまざまな分野で影響が生じることが考えられます。

### 地域社会・インフラ

- 都市や集落の機能低下
- 道路、上下水道など既存インフラの維持の困難化
- 地域公共交通の縮小
- 空き家、空き店舗の増加

### 経済・雇用

- 生産年齢人口の減少に伴う労働力不足
- 従業員の年齢構成のアンバランス化による円滑な技能継承の阻害
- 後継者不足による事業承継の困難化

### 農林水産業

- 担い手の高齢化と後継者不足
- 耕作放棄地の増加
- 森林の荒廃

### 医療・福祉

- 現役世代における社会保障関連経費の負担増加
- 医療、福祉、介護人材の不足

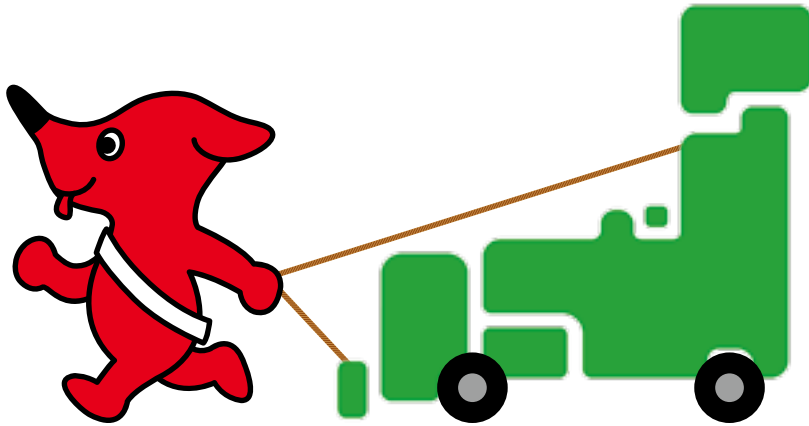
### 教育

- 子どもたちが規範意識やコミュニケーション能力を身につける機会の減少
- 学校存続の困難化

# ● 千葉が果たすべき「役割」

**1** 東京圏\*の一員として、日本の成長のエンジンであり続ける！

\*東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県



**2** 若い世代の結婚や出産・子育ての希望がかなう環境を実現する！



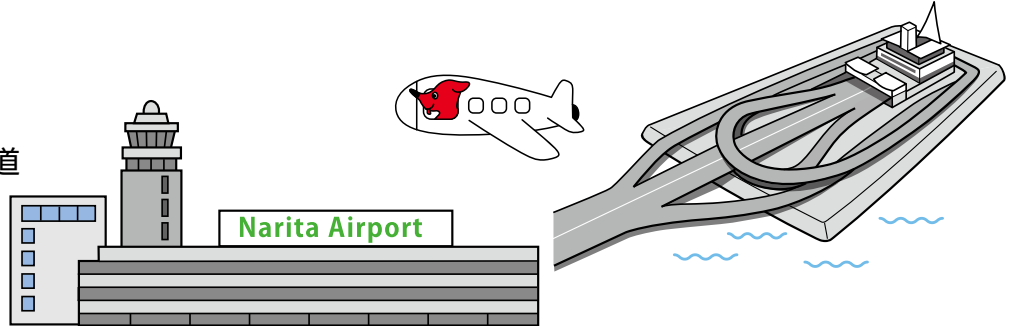
**3** 世界をリードする「国際都市」へと発展する！

千葉の地方創生が日本の創生につながるよう取組を進めていきます。

# ● 千葉の「強み」

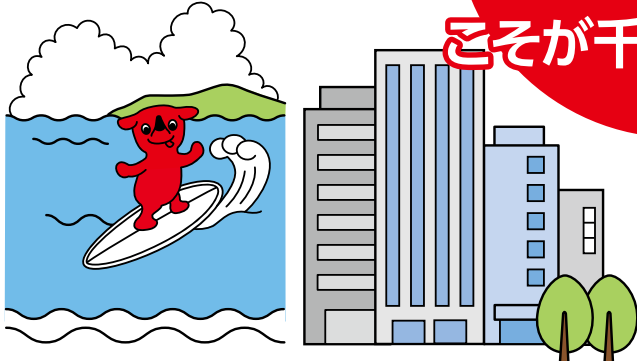
## 優れた社会基盤

- 成田国際空港
- 東京湾アクアライン
- 首都圏中央連絡自動車道 (圏央道)



## 恵まれた地域資源

- 豊かな自然環境
- 魅力あふれる観光地
- 優れた都市機能



これらの「宝」を最大限活用することにより、千葉県という空間でさまざまな価値観に対応した「働く場」「子育ての場」「住まいの場」「憩いの場」を提供することが可能。

**「総合力の高さ」**  
こそが千葉県の強み

## ハイレベルで バランスのとれた 産業構造

- 全国3位の農業
- 全国8位の漁業
- 全国6位の工業
- 全国7位の商業



(平成25年農業産出額全国3位、平成25年海面漁業漁獲量全国8位、平成25年製造品出荷額等全国6位、平成26年小売業年間商品販売額全国7位)

つよ「強み」を生かして「役割」をしっかり果たすことにより



行政 県民 企業  
『オール千葉』体制で  
取り組もう！





## 目指すべき将来の方向

# くらし満足度 日本一の千葉



「千葉で生まれてよかった」「住んでよかった」「働けてよかった」と誇れる「くらし満足度日本一」を実現し、あらゆる世代が笑顔で住み続けられる千葉を目指します。これを実現するため、次の3つの基本的方向を設定しました。

## 1

## 国内外の人々が集う 千葉の実現

～人口の社会増～

県内での雇用の場の拡大や、都心へのアクセス強化、地域間における交通の利便性向上などによって、地域に住み働ける県づくりを進め、経済そして住の面から東京圏を支えます。また、オール千葉体制で東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組を進め、多くの外国人がさまざまな目的のもと訪れ、暮らしやすい「国際都市」へ発展させます。



## 2

## 親子の笑顔が溢れる 千葉の実現

～少子化への挑戦～

優れた都市機能と豊かな自然を有し、子育てに関する多様な価値観に対応できる環境を備えた千葉県の優位性を生かし、若い世代が安心して結婚、出産、子育てができる環境づくりを進め、「子どもを生み育てるなら“千葉”」と選ばれる県を目指します。



## 3

## オール千葉で支え合う 安全・安心に暮らせる 千葉の実現

～人口減少に対応した県づくり～

人口減少や高齢化が進む中でも、医療・介護・福祉をはじめ、さまざまな分野のサービス機能を確保できるよう取組を進めるとともに、行政や県民、民間企業などが協力して地域を支えることにより、さまざまな価値観を持つ人が、住みたい地域で、健康で安全かつ安心して暮らすことができる県づくりを進めます。





# 千葉県の将来人口

「目指すべき将来の方向」に基づく取組を進め、若い世代の結婚・出産・子育て・居住などの希望がかなえられた場合の将来人口について、3つのパターンで試算しました。

## 仮定

### パターン1

合計特殊出生率が、2030年に1.8、2040年に2.07まで上昇<sup>※1</sup>した場合

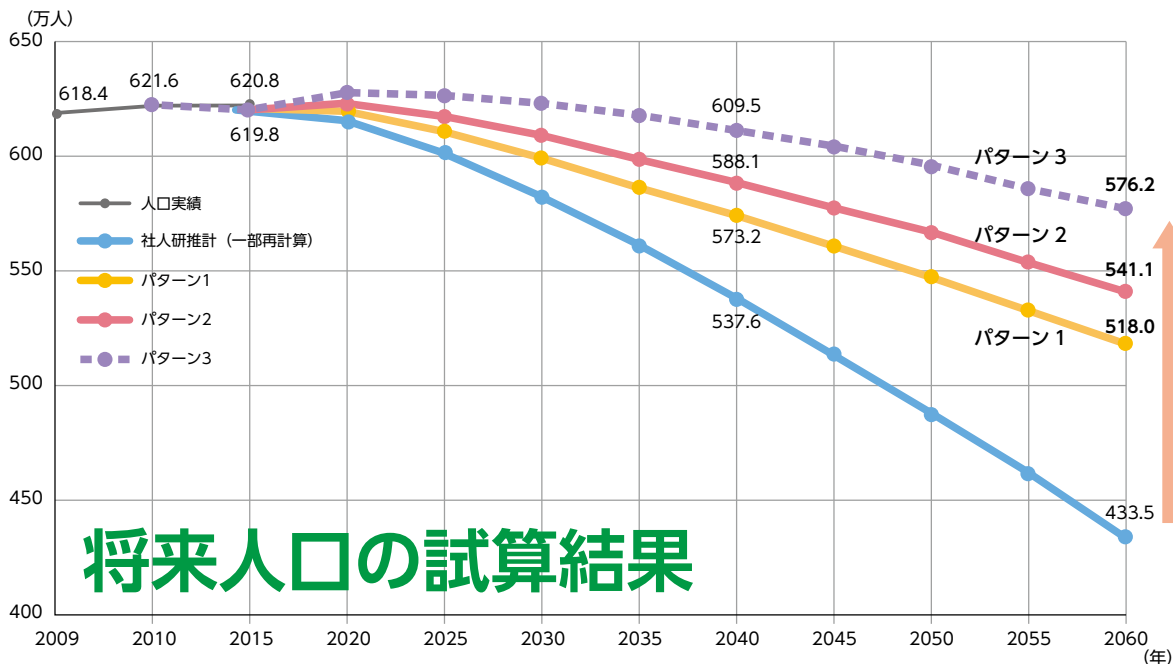
### パターン2

パターン1の仮定に加え2015年以降、転出者のうち23.7%<sup>※2</sup>の人が、5年間で千葉県に戻る場合

### パターン3

パターン1の仮定に加え2015年以降、転出者のうち53.1%<sup>※3</sup>の人が、5年間で千葉県に戻る場合

- ※1…国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(平成26年12月策定)」による合計特殊出生率を共有。
- ※2…千葉県への再居住に関するアンケートにおいて、千葉県に再び「とても住みたい」と回答した人の割合。
- ※3…上記アンケートにおいて、千葉県に再び「とても住みたい」「やや住みたい」と回答した人の割合。



## 将来人口の試算結果

※人口実績：千葉県毎月常住人口調査(各年10月1日現在) ただし、2015年については暫定値。

このように、千葉県に再び住みたいという希望がかなえられた場合には、急激な人口減少に歯止めをかけられる可能性があることがわかりました。

そこで、県民の就労や出産・子育てなどの希望がかなえられるよう、「オール千葉」体制で「『暮らし満足度日本一』の千葉」の実現に向けて取組を進めます。



# 総合戦略

## I

# 東京オリンピック・パラリンピック 「世界中から人々がやっ

県内でも競技が開催される東京オリンピック・パラリンピックは、千葉県の発展につながる「宝」を磨きあげ、広く国内外に発信することによって、「世界中から人々がやってくるCHIBA」を作り上げる千載一遇のチャンスです。

この実現に向けた取組は、新しい人の流れを生み出し地域経済の活性化を図るとともに、さまざまな主体が連携して安全で安心して快適に過ごせる環境を整備し、子どもたちが誇れる千葉を「オール千葉」体制で作り上げるものであり、まさに地方創生の核となるものです。



## 目標



### 観光入込客数

現状値

165,930千人  
(平成25年)



**196,650千人**  
(平成31年)

### 外国人延宿泊数

現状値

2,667千人泊  
(平成26年)



**増加を目指す**  
(平成31年)

### 通訳ボランティア新規養成者数

現状値

—  
(平成26年度)



**500名**  
(平成31年度)

## 1 大会の成功・開催効果の全県への波及

- 競技会場にふさわしい環境の整備
- オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進
- 大会開催効果の全県への波及



東京オリンピック・パラリンピック7競技が開催される幕張メッセ

# オリンピックを契機として てくるCHIBA」づくり

## 2 キャンプ・国際大会・MICE※の誘致

- 事前キャンプの誘致
- 国際大会等の誘致
- 誘致に関する情報の一元化
- MICEの誘致

※企業等の会議(Meeting)、企業等が行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、イベント・展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。



2015 世界陸上競技選手権大会北京大会 事前キャンプ  
(Juntendo International 2015・提供：佐倉市)

## 3 成田空港の利便性向上、 交通ネットワーク・アクセスの強化

- 成田空港の利用促進と人・物の流れの取り込み
- 交通ネットワークの強化・充実



年間約 3,700 万人が利用する日本の表玄関「成田国際空港」  
(提供：成田国際空港株式会社)

## 4 バリアフリー化の促進

- ハード面でのバリアフリー化
- ソフト面でのバリアフリー化
- 心のバリアフリーの推進

## 5 魅力ある観光地づくり

- 観光客の安全・安心の確保
- 観光地の受入環境の整備・おもてなし力の向上
- 観光地としての新たな魅力の創出

## 6 外国人受入体制の整備

- 外国人観光客の受入環境の整備
- 外国人へのおもてなし力の向上

## 7 国際交流の促進

- 国際交流と国際理解の促進
- ボランティア人材の育成

## 8 戦略的な千葉の魅力発信

- 全国・世界への幅広い情報発信
- 千葉県ならではの新たな魅力の発見・磨き上げ・発信
- 郷土の歴史や文化の発信
- オール千葉での多様な魅力の発信



## 基本目標

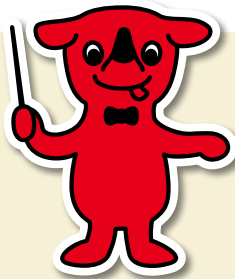
# (1) “一人ひとりの働きたい”が かなう千葉づくり

産業が盛んになり、新たな雇用の場が生まれると、県内に住み続ける人や転入する人が増え、ますます地域経済が活性化するという好循環を生み出すことができます。

このため、千葉県の地理的優位性、優れた社会基盤、バランスのとれた産業をそれぞれの地域で生かすことで各産業の振興を図り、若者等にとって魅力ある雇用の場を創出するとともに、将来を支える産業人材の育成・確保を図ります。

また、将来的には、県内各地域において「千葉で働きたい」人の希望がかなうよう、通勤1時間圏内に雇用の場が確保できるよう取り組みます。

### 目標



#### 県内製造品出荷額等

現状値

130,033億円  
(平成25年)



増加を目指す  
(平成31年)

#### 県内年間商品販売額

現状値

107,577億円  
(平成26年)



増加を目指す  
(平成31年)

#### 農業産出額

現状値

4,141億円  
(平成25年)



増加を目指す  
(平成31年)



### 1 地域の特性に応じた 戦略的な企業誘致の推進

- 成田空港・アクアライン・圏央道等を活用した企業誘致の推進
- 「茂原にいはる」「袖ヶ浦椎の森」の2工業団地の整備推進
- 外資系企業の誘致推進
- 大型船舶に対応した耐震岸壁の整備、ポートセールスの推進

# た千葉づくり

## 2 力強い農林水産業の確立

- 多様な地域資源を活用した6次産業化の推進
- 農林水産物の販路開拓
- 企業的経営体や法人等、農林水産業を支える多様な担い手の確保・育成
- マーケット需要に対応した力強い産地づくり
- 生産基盤の充実強化と施設等の保安全管理
- 耕作放棄地の発生防止・解消及び有害鳥獣被害対策の強化
- 試験研究の充実
- 環境や資源に配慮した農林水産業の推進



地域資源を活用して開発した6次産業化の商品

## 3 未来を支える新産業等の振興

- 中小企業・ベンチャー企業の技術開発等の促進
- 新産業の振興
- 新エネルギー等の利活用、導入促進



中小企業等の研究開発などを総合的に支援する東葛テクノプラザ

## 4 京葉臨海コンビナートの競争力強化

- 京葉臨海コンビナートの生産性向上や事業環境の改善
- コンビナートを支える人材の能力向上や担い手の育成

千葉の地方創生を確実に実現するには、「各地域の特性を生かした取組」が必要であり、「市町村の果たす役割」が重要となります。このため、4つの基本目標を市町村と共有し、市町村が取り組む、地域の課題を踏まえた意欲的で創意工夫のある地域づくりを広域的な立場から支援するための施策を展開します。



## 5 中小企業の活性化支援

- 中小企業の経営基盤強化
- 中小企業等の人材確保
- 産業人材の育成支援

## 6 地域の創意工夫による経済活性化の取組の促進

- 商店街の活性化支援
- 地域資源の活用、ブランド化の推進
- 起業・創業の支援

## 7 主要都市間の交通アクセス整備

- 高規格幹線道路等の整備促進
- 国道・県道のバイパス・現道拡幅等の整備推進



人とモノの流れをスムーズにする「圏央道（大栄ジャンクション）」（提供：東日本高速道路株式会社）



## 基本目標

# (2) “国内外の多くの人々が集う” 魅力あふれる千葉づくり

千葉県の人口の減少が今後見込まれる中、地域の活力を高めていくためには、千葉県の優れた資源を活用して移住・定住の促進や交流人口の増加を図ることが重要です。

このため、各地域が持つ資源を徹底的に洗い出し、日本人のみならず、日本を訪れる外国人の視点からも魅力のあるものに磨き上げるとともに、国内外の誰もが過ごしやすい住みやすい環境づくりを進め、「魅力の宝庫 ちば」を国内外に積極的に発信します。



### 目標



#### 人口の社会増

現状値

8,364人  
(平成26年)



**増加を目指す**  
(平成31年)

#### 観光入込客数【再掲】

現状値

165,930千人  
(平成25年)



**196,650千人**  
(平成31年)

#### 外国人延宿泊数【再掲】

現状値

2,667千人泊  
(平成26年)



**増加を目指す**  
(平成31年)

### 1 国際都市として発展する CHIBAの基盤づくり

- 外国人受入体制の整備
- バリアフリー化の推進
- 国際交流の推進



## 2 居住地として選ばれる千葉づくり

- U I J ターンの促進
- 都心へのアクセス強化
- 地域間のアクセス強化
- 地元への愛着と誇りの醸成



千葉の暮らしやすさを紹介する電子ブック「ちょうどいい千葉」

## 3 国内外の誰もが訪れたい観光地づくり

- 千葉ならではの資源を活用した新たな観光需要の開拓
- 鉄道事業者やバス事業者等と連携した新たな観光メニューづくり及び二次交通活用の仕組みづくり
- 誰もが快適に過ごせるための環境の整備
- 農山漁村の活性化に向けた地域資源の活用
- 観光地へのアクセスを強化する道路整備の推進



国内外からの観光客を魅了する佐原の町並み

## 4 大学等との連携による地域への若者の定着促進

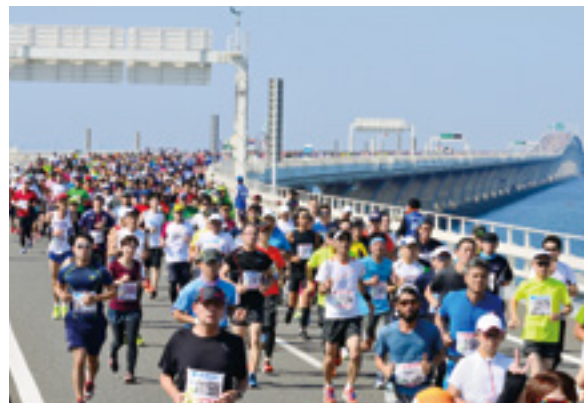
- 大学等卒業後の若者の定着支援
- 医療・福祉・介護人材の確保
- 地域を支える人材の育成



県内の学生等と福祉施設とのマッチングを図る「福祉のしごと就職フェア in ちば」

## 5 千葉の様々な魅力の国内外への発信

- 在京メディア等を活用した広報・魅力発信
- 世界に向けた千葉の魅力発信
- 戦略的な観光プロモーションの展開
- ちばアクアラインマラソンの実施
- 県内の文化遺産の活用推進
- 文化・芸術を活用した千葉の魅力の発信



約1万7千人の国内外のランナーが参加した「ちばアクアラインマラソン 2014」

## 基本目標

### (3) 〳それぞれの結婚・出産・子育ての希望〳がかなう千葉づくり

若い世代の結婚・子育ての希望を実現し、子どもたちが心身ともに健やかに生まれ育つためには、妊娠・出産・子育てに関するさまざまなニーズに応じて、誰もが安心して子どもを生み、育てられる環境をつくることが重要です。

このため、妊娠・出産から子どもの自立までを総合的に支援するとともに、若い世代の経済的な安定を確保することにより、少子化の流れに歯止めをかけ、次代の千葉を担う子どもたちの成長を支えます。



千葉県こども病院

目標

子どもを生み育てやすいと感じる  
家庭の割合

現状値

76%  
(平成25年度)



80%以上  
(平成31年度)





## 1 若い世代の経済基盤の確保と 子育てに係る経済的負担の軽減

- 若者の正規雇用の促進
- 子育てに要する経済的負担の軽減



「千葉県ジョブサポートセンター」での職業相談

## 2 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

- 結婚から子育てまでの間の一貫した支援
- 自らが望むライフデザイン設計の意識醸成
- 妊娠に関する支援
- 地域医療体制の整備
- 保育等の子育て支援体制の整備
- 保育人材等の確保と資質の向上
- 子どもの保健対策に関する支援
- 企業・地域による支援体制の構築
- 家庭教育への支援
- 子どもや家庭に対する相談支援体制の充実



子育てに関する情報交換や交流ができる「子育て支援センター(佐倉市)」

## 3 働きながら生み育てやすい環境づくり

- ワーク・ライフ・バランスの推進
- 事業所内保育の促進
- 男女が協力して子育てできる環境づくり
- 女性が活躍しやすい環境づくり



働くママ・パパを支援するスマートフォンアプリ「ちば My Style Diary」

## 4 千葉に愛着を持ち、 地域や世界で活躍できる子どもの育成

- 地域を愛し地域を支える人材の育成
- すべての子どもたちが質の高い教育を受けられる環境づくり
- 学校の魅力の向上と改革の更なる推進
- 学校における多様な教育活動を支援する体制づくり
- グローバル人材の育成



高校生による「英語かるた」を使った小学校での英語指導



## 基本目標

# (4) “安全・安心なくらし” がかなう千葉づくり



人口減少・少子高齢社会においても、さまざまな価値観を持つ人が、本県が有する健康的な生活を支える多彩で新鮮な食材やスポーツに親しむ環境も生かしながら、地域で元気に安全で安心して暮らすことができるよう、高齢者等が健康で生き生きと暮らせる環境や、地域内外のさまざまな主体が地域を支える仕組みを整えることなどにより、人口減少・少子高齢社会に対応したまちづくりを進めます。

**目標**

自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると感じている県民の割合

現状値 58.1% (平成26年度) → **66.0%以上** (平成31年度)

高齢者対策について満足している県民の割合

現状値 15.5% (平成26年度) → **35.0%以上** (平成31年度)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護実施市町村数

現状値 15市 (平成26年度) → **30市町村以上** (平成31年度)

特別養護老人ホーム整備数\*

現状値 21,917床 (平成26年度) → **30,000床以上** (平成31年度)

※現行の「千葉県高齢者保健福祉計画(H27～H29)」に基づいた推計値であり、今後、国の介護保険制度の改正状況等を踏まえ、目標値を変更する場合があります。

### 1 生涯を通じて健康で 生き生きと暮らせる地域づくり

- 地域医療・介護・福祉サービスの確保
- 健康寿命の延伸
- 生涯スポーツの推進

### 2 地域コミュニティの再生と担い手づくり

- 若者、高齢者、地元企業等の地域活動への参加促進
- 地域活動を支える市民活動団体等の育成
- 地域に関わる多様な主体による連携・協働の促進
- 生涯学習社会を目指した取組の推進
- 学校を核とした地域コミュニティの構築と子どもの学びへの支援

### 3 快適で暮らしやすいまちづくり

- 公共施設の適正な維持管理
- 空き家の利活用の促進
- コンパクトなまちづくり
- 地域分散型エネルギーの推進

### 4 安全に暮らせる地域づくり

- 地域防犯力の向上
- 地域防災力の向上
- 災害に強いまちづくりの推進

地域防犯活動の拠点となる「防犯ボックス」(柏市酒井根・中原地区)



### 5 地域連携の強化

- 県と市町村の連携強化・県による事務の補完
- 市町村間の連携強化 ● 隣接都県との連携強化

## 総合戦略の推進に当たって

本戦略の実現に向け、各部次長級を構成員とする「千葉県地方創生プロジェクトチーム」において、部局横断的に取り組むとともに、市町村や関係機関等と連携を図り、地方創生の取組を推進していきます。

また、マネジメントサイクル(PDCA)を活用し、毎年度、外部有識者を含めて取組状況を検証するとともに、その結果に基づき、必要な改善を次の施策に反映させます。

なお、社会情勢の変化や検証結果などを踏まえ、必要に応じて総合戦略の見直しを行うこととし、見直しに当たっては、県民をはじめ、県議会、市町村、関係機関・団体などから広く意見を聞くこととします。

### Plan

目標・指標を設定した効果的な総合戦略の策定

### Do

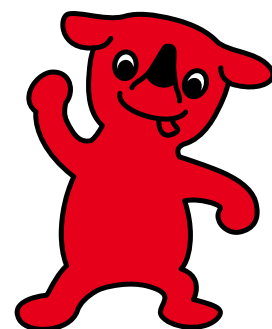
総合戦略に基づく施策の実施

### Check

目標・指標の達成度から成果を客観的に検証

### Action

施策の見直し  
総合戦略の改訂



## 総合戦略を支える4つの基本的視点

急激な人口減少の歯止めと、地域経済の活性化を図るとともに、持続可能な地域社会を確立するため、千葉県では以下の4つの視点に基づき、総合戦略を着実に推進し、千葉県ならではの地方創生に取り組めます。

### ① 中長期的かつ総合的な取組

人口減少の影響は、中長期にわたり、幅広い分野に生じます。

そのため、一過性の対症療法的なものではない、中長期的かつ総合的な取組を進めます。

### ② 千葉を愛し、時代を担うひとを育む取組

産業、地域コミュニティをはじめ地域の活力を支えるのは、千葉を愛する「ひと」です。

そのため、千葉に愛着を持ち、相互に支え合う「ひとづくり」の取組を進めます。

### ③ 県の特性や強みを生かした取組

地方創生は、それぞれの地域が独自性を生かし、潜在力を引き出すことにより、地域の活力を高めていこうとするものです。

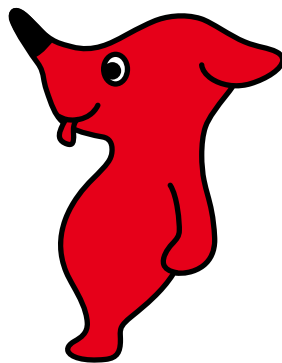
千葉県は、地勢的に東京に隣接するとともに、社会基盤も充実し、また、バランスのとれた産業構造を有している強みがあります。

そのため、本県の特色や地域資源といった「千葉の宝を徹底的に生かした」取組を進めます。

### ④ 地域間の連携した取組

多様化する県民ニーズや社会・経済情勢の変化を的確に把握し、柔軟かつ効率的な行政運営を行うためには、県内市町村、近隣都県との連携促進を図ることが重要です。

そのため、防災、医療・福祉をはじめ、県内の地域間連携や近隣都県との連携促進を図ります。



千葉県マスコットキャラクター チーバくん

平成 28 年 2 月発行

千葉県 総合企画部 政策企画課

〒 260-8667 千葉市中央区市場町 1-1

TEL：043-223-2483 FAX：043-225-4467

「千葉県人口ビジョン」及び「千葉県地方創生『総合戦略』」の全文は、県内地域振興事務所などで閲覧できるほか、県ホームページでご覧になれます。

●県 HP・千葉県まち・ひと・しごと創生（地方創生）のページ  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/chihouseisei/>

DTP 制作・印刷：株式会社エリート情報社 印刷出版局

【表紙掲載写真】

上部左から：東京湾アクアライン、菜の花、佐原の町並みを楽しむ外国人観光客（提供：佐原商工会議所）、2015 世界陸上競技選手権大会北京大会事前キャンプ（Juntendo International 2015・提供：佐倉市）、京葉臨海コンビナート

下部左から：千葉県産の野菜、千葉県こども病院、特別養護老人ホームの交流スペースにおける地域活動（茂原市光風荘）